

【令和7年度 政策・調整会議】

件 名：川崎市バス事業 経営計画（案）の策定について

日 時：令和7年11月14日（金）13：17～13：20

場 所：本庁舎7階特別会議室

●付議理由

これまで、令和元（2019）年度から令和7（2025）年度までを計画期間とする「川崎市バス事業経営戦略プログラム」に基づき、お客様サービスの向上と持続可能な経営を目指して取組を推進してきた。高齢化の進行や人口増加、まちづくりの進展等の事業を取り巻く環境が刻々と変化する中においても、運転手・整備員の確保・育成や営業所施設の老朽化といった課題に的確に対応しながら輸送サービスを持続的に提供し、市民やお客様の大切な交通手段を確保していくため、新たな経営計画を策定するものである。

●付議概要

「川崎市バス事業 経営計画（案）」を策定する。

＜案＞

○計画の基本的考え方

脱炭素化に向けた取組や、営業所の建替え整備、特別減収対策企業債の償還等、多くの資金が必要となり、厳しい経営状況が見込まれる中、今後においても公共交通事業者としての意義・役割を着実に果たしていくため、市域の路線バスネットワーク形成に寄与しながら、市バスネットワークの効率的・効果的な構築を前提に、安全かつ快適で利用しやすいサービスを提供し、安定した経営基盤の構築に取り組む。

○目標達成に向けた取組

戦略1 運輸安全マネジメントの推進	施策1 運輸安全マネジメントの着実な推進 施策2 安全啓発の推進
戦略2 サービスの推進	施策3 市バスネットワークの形成 施策4 バス利用環境の整備 施策5 快適な移動空間の提供
戦略3 公営交通事業者としての取組	施策6 本市の行政施策との連携 施策7 環境対策の推進 施策8 災害時等への対応
戦略4 経営基盤の構築	施策9 安定した経営基盤の確保 施策10 プロモーションの推進

○目標値の設定

今までの実績に即した目標値を設定する。

○進行管理

- ・進捗管理会議を実施し、P D C Aサイクルを効果的に回す。
- ・外部委員による専門的見地や利用者等の視点により進捗状況の確認を行いながら、効果的に事業を推進する。

●結論

案のとおり了承。